



ボーイスカウト川崎地区賛助会は1984年に川崎地区協議会の財政支援を目的として、川崎地区の有志により設立されました。この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広く皆様へご紹介する目的で発行しているものです。また、賛助会の運営趣旨にご賛同ただけの方へのご入会促進メッセージでもあります。この機会に是非ご入会を検討いただければ幸甚です。

令和6年度にあたり 会長 木村 耕三



平素は日本ボーイスカウト川地区賛助会にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で会員の方々のご協力によりまして運営が順調に遂行できておりますことをご報告申し上げます。

昨年の5月にコロナの「まん延防止法当重点措置」が第5類に分類されて以降は、ボーイスカウト活動はほぼコロナ前の状態の戻ったように思います。

2024年は完全に戻りこれまでの活動に加え新規の事業も予定されており、活動がより活発になることが期待されます。

さて、令和6年度は賛助会事業といたしまして、6月9日に年次総会の開催、10月にゴルフコンペを大多喜城GCにて100名の参加者を迎えて盛大に開催する予定でございます。また、翌年1月のニューイヤーパーティーも従来通り開催される予定です。

賛助会の課題として引き続き会員の増加について努力して参ります。更に賛助会として理事による積極的な対外的PRの促進、地区行事におけるPR並びにブーメランの配信や地元企業への訪問により会員の増強を進めて参ります。

川崎地区協議会に対する賛助金は後述のとおり710,000円を予定しております。特にボルチモアとの交流が40周年の記念の年を迎えます。今年はボルチモアへ派遣する年で若い指導者を派遣隊長とし総勢10数名の参加が予定されております。また2年ごとに開催される高校生対象のGATC事業にも賛助致します。

2024年度も川崎地区賛助会・川崎地区協議会は互いに手を携えて活動して参りますので、会員の皆様には今後ともご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

■令和6年度賛助会賛助事業が決まりました！

4月21日、地区総会にて木村会長から北條地区委員長に令和6年度の賛助金目録が手渡されました。



令和6年度地区事業計画（賛助会賛助事業）

月・日	事業名	場所	備考
6月23日（日）	ビーバー祭り	こどもの国	ビーバースカウト対象
6月16日（日）	ボーイスカウト講習会	青少年の家	新規保護者・ロバートスカウト
10月・R7年2月	ボーイスカウト講習会	青少年の家	新規保護者・ロバートスカウト
7月20日～8月5日	ボルチモア交流派遣	ボルチモア	中学2年生以上対象
8月～10月	白梅隊	黒川青少年野外センター	ボーイスカウト対象
8月・R7年2月	ローバーイベント	黒川青少年野外センター	ローバースカウト対象
10月6日（日）	地区ラリー	未定	地区全員対象
11月17日（日）	スキルサポートセミナー	青少年の家	指導者対象

■令和6年度川崎地区事業につきまして 地区委員長 北條 賢一

ボーイスカウト川崎地区賛助会の皆様にはボーイスカウト川崎地区協議会の事業に多大なるご尽力をいただき、感謝申し上げます。

令和2年に地区委員長に就任以来、新型コロナウイルス蔓延に伴い、活動の制限を余儀なくされましたが、昨年はほぼ従来通りの事業を行うことができました。スカウトの活動をより活発にしていくため、ますます団と協同していきたいと考えます。昨年久しぶりの

来川で盛り上がったボルチモア交流事業、今夏30回を迎え期待いっぱいの派遣となります。

進歩においても富士・隼スカウトが4名ずつ誕生し、今年度も各団がスカウト育成に力を入れている中、地区としても支援を欠かしません。支える指導者養成もより重要となり、スカウト運動に関わる方々をさらに増やすべく、ネットワークを活用していきます。加盟員が一斉に集う地区ラリーも秋に計画しており、団と地区の一層の交友を深めるべく努力していきたいと存じます。

【特別寄稿】

令和5年度に富士章受章したスカウト4人の皆さんから寄稿頂きましたのでご紹介します。

●川崎第54団 孫工 莉緒

富士章番号：No.4407

【富士スカウト章挑戦】

私は、2024年3月に富士スカウト章を取得しました。富士スカウト章への挑戦にあたっては、「プロジェクト」「ソロキャンプ」「奉仕」が三本柱となり、一貫して、ちかいとおきての実践が求められます。

「プロジェクト」では、ファストファッションについて取り組みました。プロジェクトのきっかけは、社会学の授業で『The True Cost』という映画を観たことです。この映画を通して、ファストファッションによって環境問題や人権問題が引き起こされていることを知りました。これらの問題を解決するために私にできることはないかと考え、人々にサステナブルファッションについての情報と意識を広めることにしました。具体的には、服飾に関する企業へのインタビュー、消費者アンケート、子供向けの古着リメイクイベントの開催、Instagramの投稿などを行いました。これにより、服飾についての「持続可能な開発および自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識」を持つ人を増やすことができました。

「ソロキャンプ」では、個人課題として栄養バランスのよい食事作りに取り組みました。きっかけは、減糖・減塩が必要な祖父母に食事を作ることが増えて、栄養素について調べるようになったことです。その中で、キャンプで作る食事は手間や時間を短縮するために栄養が偏りがちなことに気付き、改善しようと思いました。意識的に肉魚や野菜を増やしつつ、野菜を一度に切って保管したり、

パスタを水に漬けたりして調理時間が長くなるようにしました。このキャンプで学んだことは、その後の活動でも役立っています。

「奉仕」では、こども文化センターで防災イベントを開催し、ハイゼックス炊飯とパラボコードのストラップ作成を行いました。大震災を経験したことのない子供たちには災害時、そして避難後の生活のイメージがしにくいようでしたが、このイベントを通して、楽しみながら防災意識を高めてもらうことができました。参加者の子供たちに教える中で私の防災意識も高まり、子供たちがイベントを楽しんでくれたことで私も嬉しくなりました。まさに、ベーデンパウエル卿の「幸福を得る本当の道は他の人に幸福を分け与えることにある」という言葉を実感した経験でした。



これらの活動は、周りの方の力なしでは成功しませんでした。インタビューに応じてくださった企業の方、こども文化センターの方、アンケートにご協力くださった方、リーダーの方々、イベント運営を手伝ってくれたスカウトと家族など、これまでにないほど多くの方にご協力をいただきました。関わってくださった全ての方に心から感謝するとともに、富士の名誉を胸にかかげ、これからも、ちかいとおきての実践に努めていきます。

●川崎第26団 濱崎 空

富士章番号：No.4408

(受章した感想)

私一人の力では、富士スカウト章を受章することは不可能でした。受章することができたのは、ビーバー隊の頃からお世話になっている窪田団委員長やベンチャー隊の渡邊隊長をはじめとした団の皆さん、白梅隊やGATC、川崎ボルチモア姉妹都市交流事業で出会った地区の皆さん、そして家族の応援があったからこそ受章することができました。だからこそ次は私が、富士章を目指すスカウトを全力で応援したいと思います。

(より良く、楽しいスカウト活動を)

もし、まだ白梅隊やGATCなど、川崎地区の活動に参加したことがないスカウトがいたら、是非参加して欲しいです。地区の活動を通して初めて出会った他団のスカウト達と一緒に移動野営やキャンプをして友情を築いたり、団で学んだスカウトスキルを存分に発揮できたり、団では出来ないような活動があったり、私にとって地区での活動はかけがえのないものです。

団の活動に専念したり、進級を第一に考え活動するのも良いですが、少しでも興味があるのなら、皆さんも一度参加してみたいかがでしょうか？

(今後の目標)



とにかく、スカウトが本気で楽しめる活動をどんどん企画して、実行していこうと思っています。現在は川崎地区国際委員会の委員の1人として、今年度のボルチモア派遣

隊がよりよく交流活動を楽しめるように、事前の訓練キャンプや集会を企画しております。ベンチャー隊の頃に、バーチャル交流やFBC隊に上級班長として参加して以来、「国際

委員会に入って交流活動をもっと盛り上げたい！」と思っていたので、私自身、国際委員会のメンバーの1人になれてとても嬉しく思うと同時にやる気がどんどん溢れてきます。

また今年度のYSK実行委員にもなったので、今後は多方面からスカウト活動を盛り上げていこうと心から思っております。

●川崎第43団 大洞 桜子

富士章番号：No.4409

【富士プロジェクトを終えて】

私の個人プロジェクトは「神奈川連盟の歴史とこれからの発展のために」である。全国スカウトフォーラムで100年後もボーイスカウトを存続させるために私たちは何をすべきかを議論した。そこで他の都道府県と比較しても、スカウト数の多い神奈川連盟は何をすべきなのかを考えたいと思い、プロジェクトとして企画した。

結果としてプロジェクトは目標をほぼ未達成のまま終えた。まず神奈川連盟がどのように発展してきたのかを調べた。理想は各地区ごとに団数など具体的なところまで調べることであった。そしてなぜスカウト数が増加しているのか、社会的背景等も含めて考察すべきと考えていた。そうすることで今後に生かせるものを得られると考えていたからだ。しかし実際は県連の歴史と地区の編成等までしか調べることができなかった。そのためすべて内容が希薄なものになった。また交流会を開き調べた歴史を共有しながら、フォーラム形式で今後できること、したいことを議論しようと計画していた。計画の段階で県連から「県として参加者を募ることはできない」と言われてしまい、実施することができなかった。

このプロジェクトが未完成で終えた原因の大半は計画性のなさに原因がある。プロジェクトの構想自体が大きいものであったため、

自身の学業との両立も含めて早い段階から計画すべきであった。また企画の時点でさらに内容を深く考えるべきであったと反省している。組織拡充を未来の目標にし、そのためにできることをプロジェクトとして行うべきであった。今後なにかプロジェクトを企画したり、任されたりした際には時間に余裕を持って、目の前の課題を明確にして取り組んでいきたい。このような手酷いプロジェクトからでも得られたものは多くある。神奈川連盟が発展してきた大まかな歴史とアンケートの結果を踏まえ、まずは目標を達成したい。私の富士プロジェクトの目的はスカウト人生における目的とし、今後の活動に取り組んでいきたい。



●川崎第46団 原田 莉子

富士章番号：No.4410

【富士章取得を終えて】

私は、富士章挑戦プロジェクトとして川崎市内で生産された農作物「かわさきそだち」の魅力を広く伝えるための活動を行いました。エコを意識した地産地消、そして食事を楽しんでもらうことを目的とし、かわさきそだちを使った料理のレシピ作成、掲載、試食会、かわさきそだちについての発表会を行いました。

レシピを作る際に工夫した点として、素材の味を楽しみ、メインのみでなく幅広いジャンルのメニューを作ること、具材の割合を変えたり、調味料を試行錯誤するなどしました。

JA セレサモス麻生店にレシピを置いていただ

く依頼をしつつ、アドバイスをいただくことでレシピの改良に努めました。カボチャは旬の関係で入荷しない日もあり、何度も足を運び材料の入手にも苦労しました。

発表会では、年代を問わず理解しやすいよう意識し、小学五年生の妹に質問しながら資料作りを行いました。時間が限られる中、何度もやり直すなど大変なこともありましたが、試食会で「美味しかった」と言ってくれる、みんなの笑顔を見て頑張った良かったと思えました。



このプロジェクトを通して、川崎市をより深く知ることができ、新たな魅力を見つけることができました。地区面接で、北村地区コミッショナーから「食」という字は人を良くすると書く、と教えていただいたのが印象に残っています。現在多くの農家では農薬を使用していて、どのように生産されているのかが不明瞭です。

しかし、地元野菜は直接農家の方に聞くこともでき、自分の暮らす場所で育った野菜なので安心して食べることができます。

体にも、地域にも良い食材を使ってこれからも「食」を楽しんでいければと思います。



【トピックス】

■ライオンズクラブ第 70 回地区年次大会
記念 稚魚の放流事業

賛助会理事 田中 勇人

令和6年年4月7日(日)、9時より東扇島東公園内人工海浜において、ライオンズクラブ国際協会330-B地区主催の第70回地区年次大会記念アクティビティ【ヒラメ稚魚の放流事業】に参加しました。今年のテーマは

「SDGsの目標：14海の豊かさを守ろう」。

参加者全員が持続可能な社会のために、海と海の資源を守る事や地球環境の保全に向けた取り組みを実感し、地域の未来を明るくするために手を携えることを目指して行われました。



現代社会においては、人と自然との共生がますます切実な社会問題と成りつつある中、今回のイベントでは海との関わりを再認識し、特に川崎のスカウト達に海洋生態系の

保護と再生に環境問題や美化活動に関心を持ってもらうきっかけを提供出来たのではないかと思います。

当日は遠く山梨から参加の人も含め多くの市民や子ども達、川崎22団・56団のボーイスカウトの子ども達と関係者150名が参加し、



合計5,000匹のヒラメの稚魚を東扇島東公園内人工海浜に放流を行いました。近い将来、

川崎の海がより美しく水産資源も豊富になり、放流された稚魚が成長し、自由に泳ぐ姿が見られ、未来の川崎の海を美しく、豊かな水産資源に育てることが期待されます。

本稚魚放流の奉仕活動の成功には、地元で



有る川崎市内のボーイスカウトメンバーの協力が無ければ実行が不可能であったと実感いたしました。

今後もボーイスカウト川崎地区では、今回のようなイベントを通じて、地域の

未来への貢献と地域コミュニティの結束の大切さを再認識し地域社会の発展と環境保全に向けて精力的に活動しボーイスカウトの魅力を発信してまいります。

【賛助会事業紹介】

■令和5年度ニューイヤーパーティ

地区総務委員長 鈴木 貞弘

恒例の2024年ニューイヤーパーティーが川崎地区賛助会と川崎地区協議会の共催で去る1月20日(土)川崎市生活文化会館(愛称：てくのかわさき)ホールにて開催されました。

川崎市と青少年育成連盟からの来賓7名、県議会議員・市議会議員12名を含め総勢90名の参加でした。

境地区協議会長並びに来賓からのご挨拶もあり、賛助会木村会長の乾杯のご発声で和やかな交歓会が始まり、パーティーの中では、これも恒例のオークションとスカウトグッズ等の販売もあり盛会のうちに無事終了しました。



■チャリティゴルフコンペのご案内

令和6年度も賛助会主催のゴルフコンペを以下の様に開催致しますので、ボーイスカウト関係者の皆様におかれましても奮って参加ご検討の程、よろしく申し上げます。

- ・日時：令和6年10月23日（水）
- 東・中・西コース：スタート8:00
- ・場所：大多喜城ゴルフ倶楽部



■賛助会員の分布(2024年3月現在)

- 準会員 8名
- 個人会員 100名(議員含む)
- 団体会員 27団体(法人含む)

■理事会報告

- 第222回 2024年1月20日
於：てくのかわさき 1F 第一研修室
- (1) 野村証券 債権購入報告
- (2) ニューイヤーパーティについて
- (3) 賛助金関連 未納状況など
- (4) 地区活動状況
- (5) 地区補助金申請の本申請
- (6) ブーメラン発行について
- (7) アクションプラン

- 第223回 2024年3月9日
於：川崎市総合自治会館
- (1) 総会準備、総会資料作成について
- (2) 賛助金関連 未納状況など
- (3) 決算審議、余剰金から調整金への振替

- (4) 地区活動状況
- (5) ブーメラン発行について
- (6) アクションプラン

- 第224回 2024年4月21日
於：川崎市総合自治会館
- (1) 総会準備 6/9のスケジュール
- (2) 総会資料作成について
- (3) 賛助金関連 未納状況など
- (4) 決算・予算審議
- (5) 地区活動状況
- (6) ブーメラン発行について
- (7) アクションプラン
- (8) チャリティゴルフコンペについて

■総会開催

- 2024年6月9日
於 川崎総合自治会館ホール
時間：13:30～16:00

■会員の声を募集しています

本誌では会員の皆様からの声を随時募集しています。テーマは自由、400字程度の原稿と写真を是非お寄せください。送り先は下記会事務局へお願いいたします。

賛助会事務局：sanjokai@scout-kawasaki.or

■会員募集

賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。



◆賛助会員の種類と会費

- ・ 準育成会員（年会費） 一口 2,000 円
- ・ 個人会員（年会費） 一口 5,000 円
- ・ 団体会員（年会費） 一口 10,000 円

お問い合わせならびにお申込み、ご意見・ご希望は下記へご連絡ください。

◆お問い合わせ:賛助会事務局:鈴木

E-mail : sanjokai@scout-kawasaki.org



日本ボーイスカウト川崎地区賛助会

検索

●編集後記

2016年4月に創刊以来、今回で8年目17号を発刊する事が出来ました。16号から新体制で編集しております。不慣れで至らぬ所があるかと思いますが、令和6年度の賛助会賛助事業のご紹介をさせていただきました。最後に能登半島地震により犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧・復興と、一日も早く平穏な日常が戻りますようお祈り申し上げます。(K)

【法人会員のご紹介】

順不同・敬称略

富士高圧ガス工業株式会社 神奈川県川崎市鋼管通 代表 谷屋 利隆	株式会社 デタケ 神奈川県川崎市中原区新城 代表 出竹 惇文	株式会社 沼崎商会 東京都世田谷区尾山台 代表 沼崎 匡一
日本エード株式会社 東京都中央区日本橋本石町 代表 小清水 克臣	株式会社 上作商店 神奈川県川崎市高津区向ヶ丘 代表 手塚 功	有限会社トミーエンタープライズ 東京都世田谷区用賀 取締役 富山 純江
株式会社 保育所ひまわり 神奈川県川崎市幸区小倉 代表 耳田 英恵	特定非営利法人 子育てを応援する会 神奈川県川崎市高津区末長 代表 飯野 道子	呉エンジニアリング有限会社 神奈川県川崎市中原区中丸子 代表 野沢 義幸
株式会社 アヴォン 保育所 ピッコリ・アンジェリ 川崎市高津区末長 代表 青木 しづ子	コパロン株式会社 宮城県仙台市宮城野区扇町 代表 長澤 清	株式会社 アップ総合企画 神奈川県川崎市川崎区元木 代表 田中 勇人
株式会社 多摩設計 川崎市川崎区貝塚 代表 岩田 崇		